

平成30年（2018年）3月期 第2四半期決算発表 地域別市場環境と見通しについて

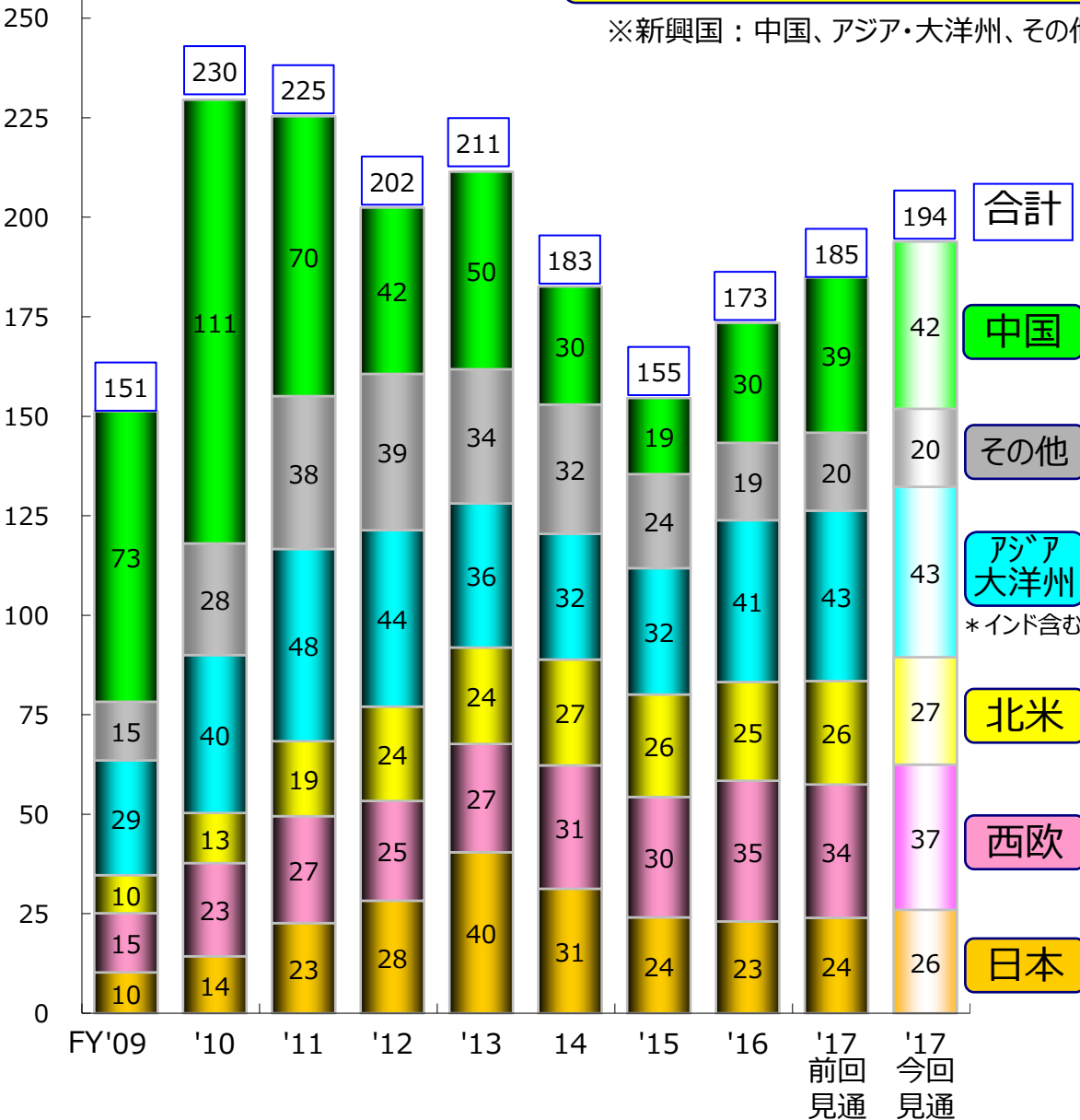


2017年10月25日
 日立建機株式会社
 執行役副社長
 落合 泰志

* 当社推定 中国国産メーカ含まず
(千台)

17年度 新興国比率：54%(対前年+2%)

※新興国：中国、アジア・大洋州、その他



地域別需要対前年増減

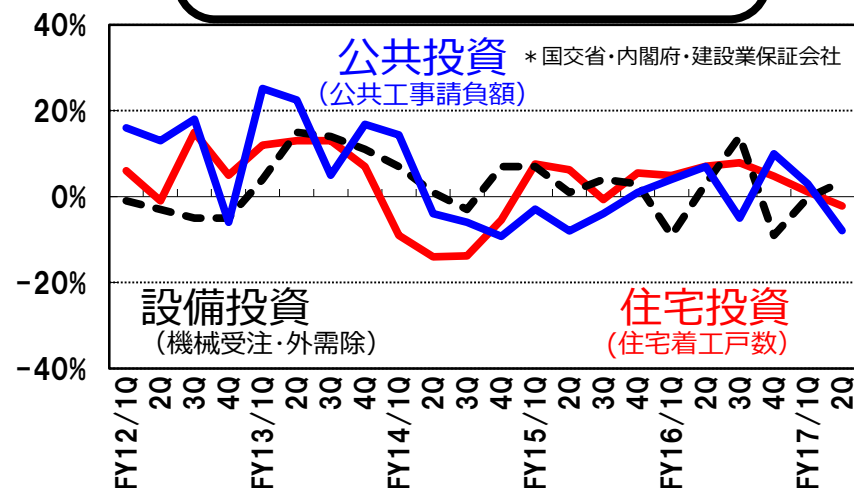
		'16	'17前回	'17今回
合計		+12%	+7%	+12%
中国		+58%	+29%	+39%
その他	アジア・CIS 東欧	+23%	+14%	+15%
	アフリカ	+13%	-12%	-12%
	中東	-45%	+3%	+3%
	中南米	-15%	-2%	-2%
	その他	-18%	+0%	+0%
アジア・大洋州	インド	+44%	+16%	+16%
	インドネシア	+36%	+14%	+29%
	他	+16%	-5%	-10%
アジア・大洋州		+28%	+5%	+5%
北米		-4%	+5%	+9%
西欧		+17%	-5%	+3%
日本		-4%	+4%	+13%

(複写・転用は御遠慮下さい)

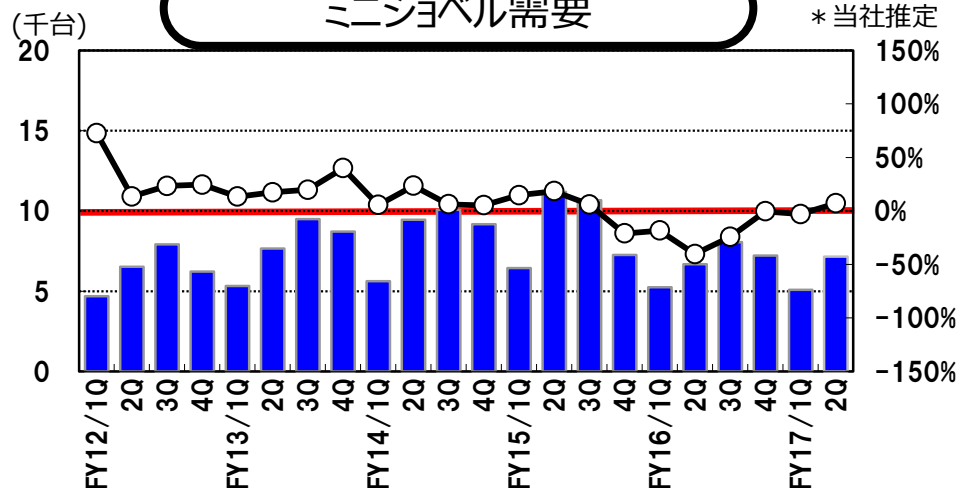
◇公共投資・住宅投資は減少、設備投資は持ち直し

◇17年4～9月建設機械需要は排ガス規制に伴う駆け込み需要により、油圧・WL需要が大幅増
(対前年油圧41%増、WL31%増)

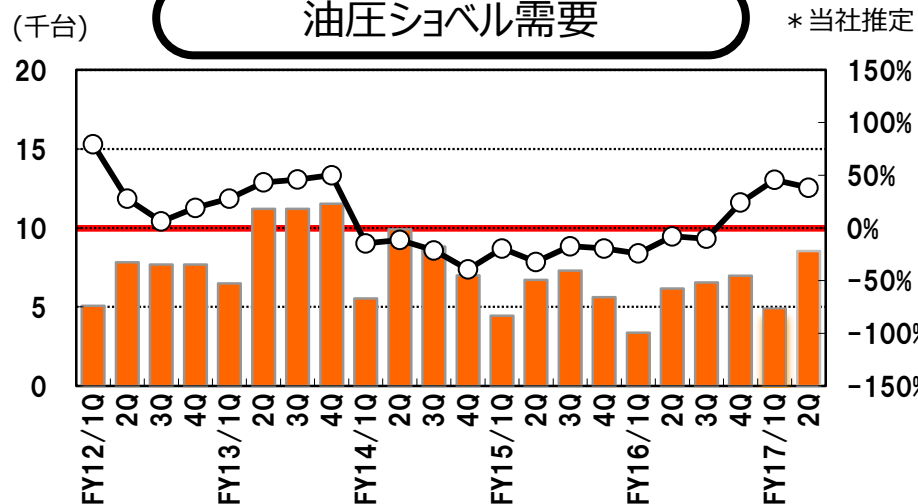
住宅・設備・公共投資 (対前年同期)



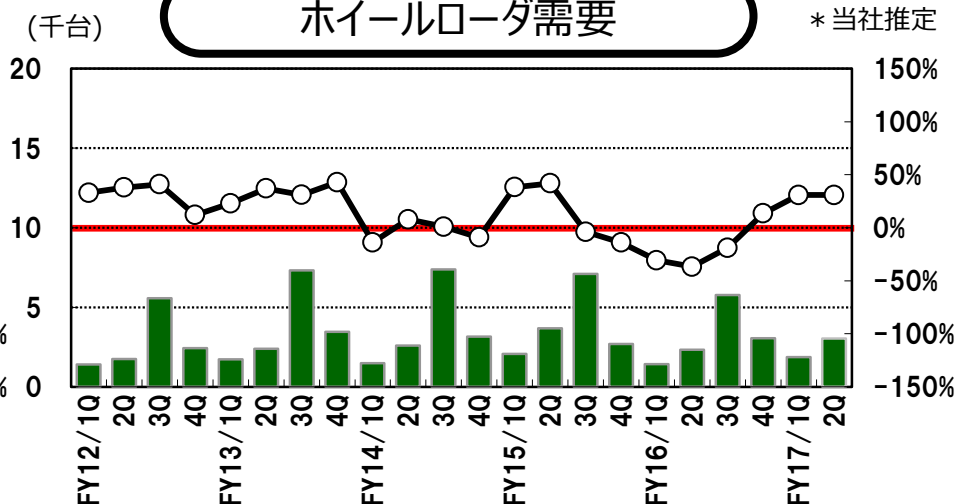
ミニショベル需要



油圧ショベル需要

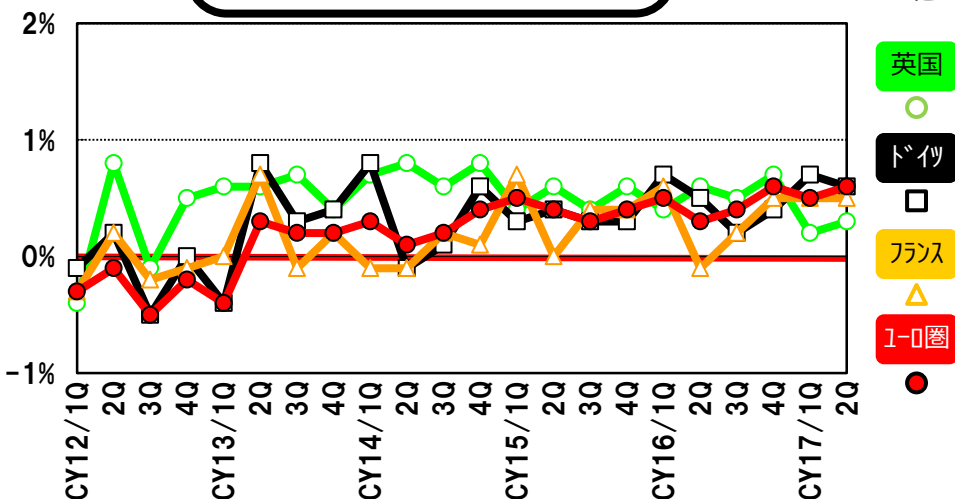


ホイールローダ需要

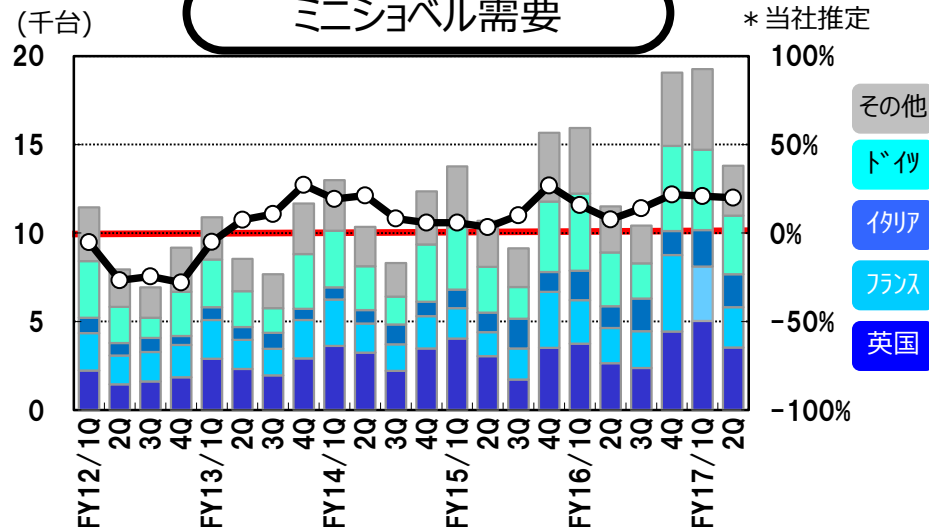


- ◇GDPはユーロ圏全体で堅調に推移
- ◇油圧・WL需要は堅調に推移、ミニ需要イギリス・イタリアを中心に大幅増（対前年20%増）

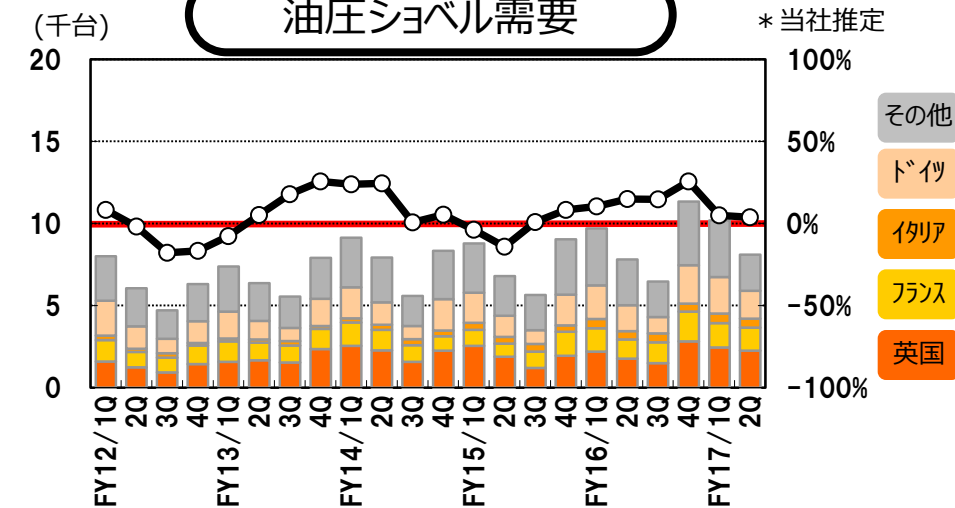
主要国GDP（対前期比）



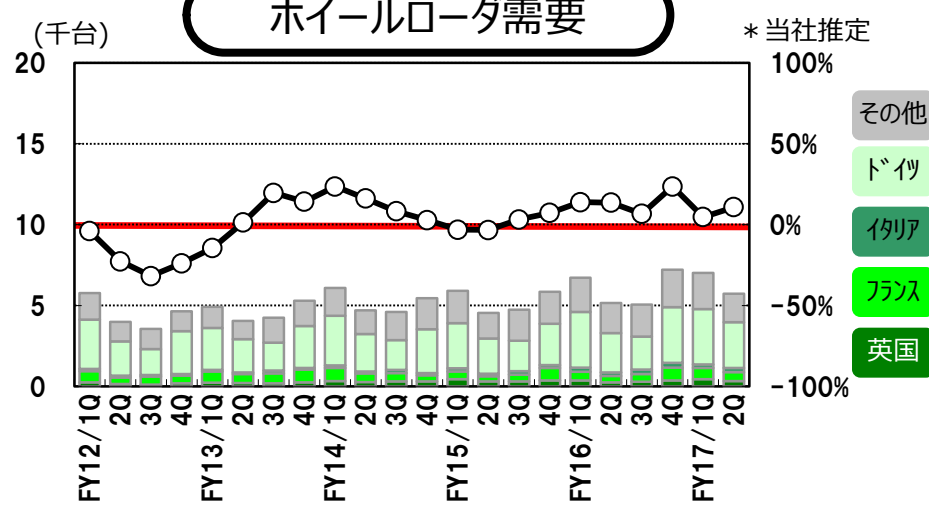
ミニショベル需要



油圧ショベル需要



ホイールローダ需要



新サービス「ConSite OIL」を開始

業界初

特許出願中

オイルセンサによる24時間監視

エンジンと油圧コンポーネントの故障予知

お客さま
メリット

- ・休車時間の短縮（稼働率向上）
- ・ライフサイクルコストの低減
（コンポーネント故障の大半はオイルに起因）

異常時

オイルの異常を
“直接”センシング作動油
ENGオイルオイル監視
センサを搭載

Globale-Service

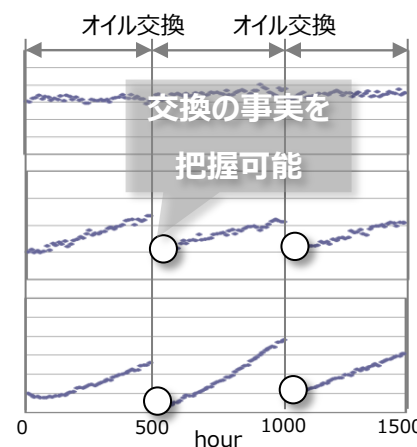
ConSite
Consolidated Solution for Construction Sites

日立建機 代理店

正常時

オイル異常から
予防保全提案

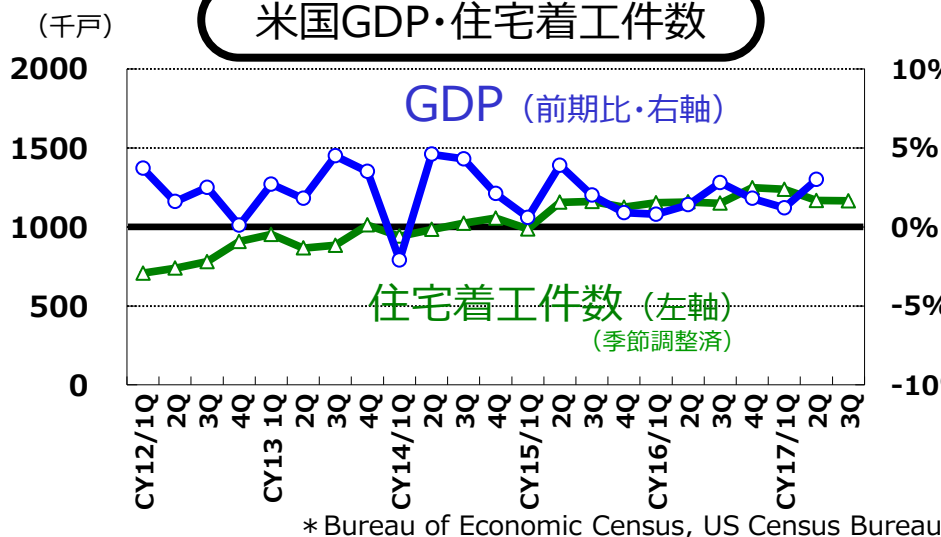
お客さま



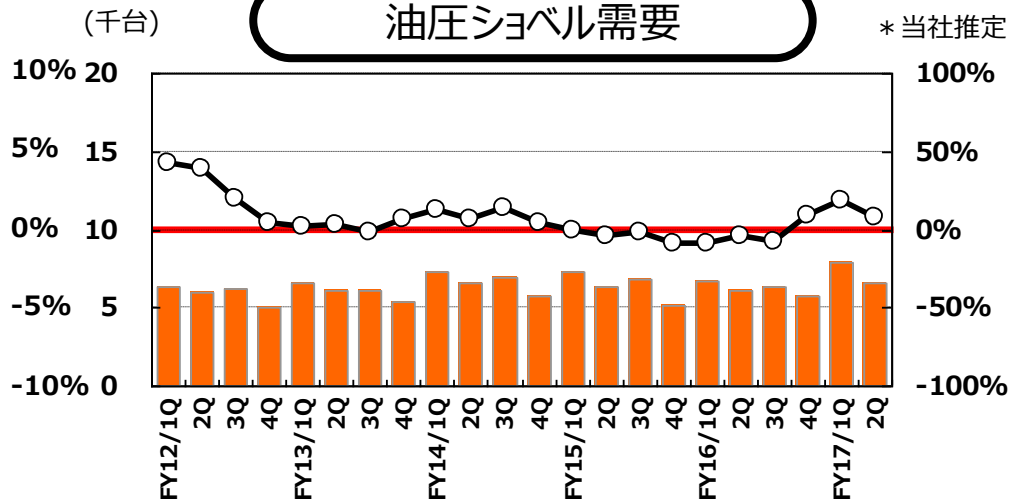
欧州・オーストラリアで17年10月より提供開始

- ◇住宅着工件数は堅調に推移、建設投資は一般住宅で増加継続
- ◇油圧・ミニ需要は増加継続（対前年油圧13%増、ミニ14%増）

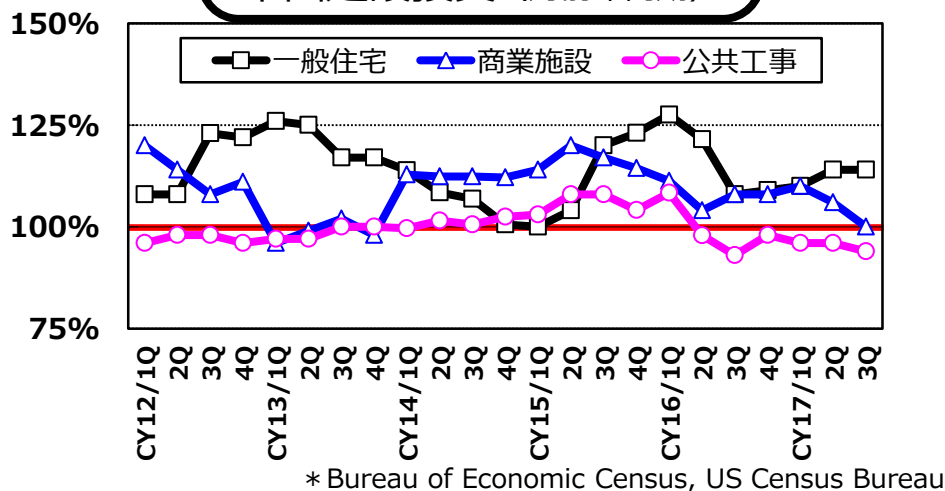
米国GDP・住宅着工件数



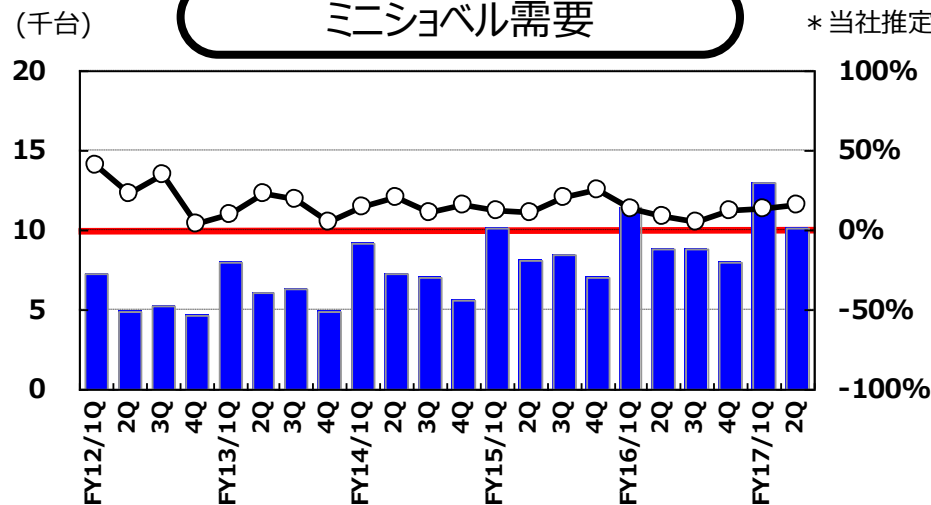
油圧ショベル需要



米国建設投資 (対前年同期)



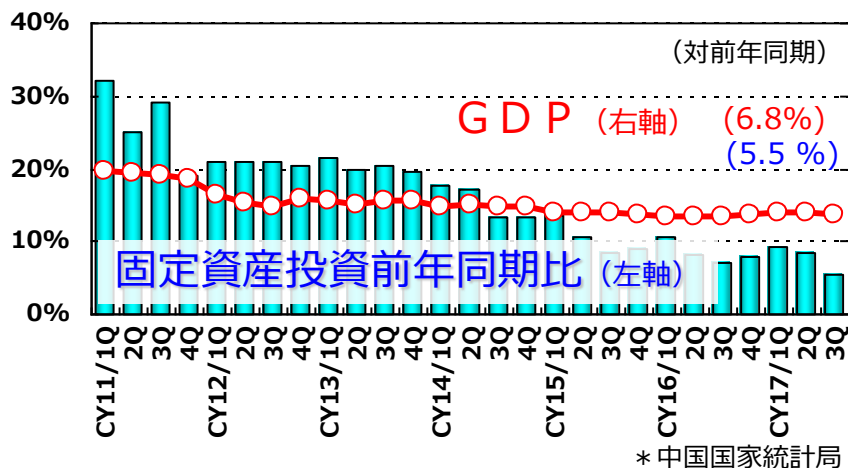
ミニショベル需要



◇17年7~9月のGDPは6.8%で推移

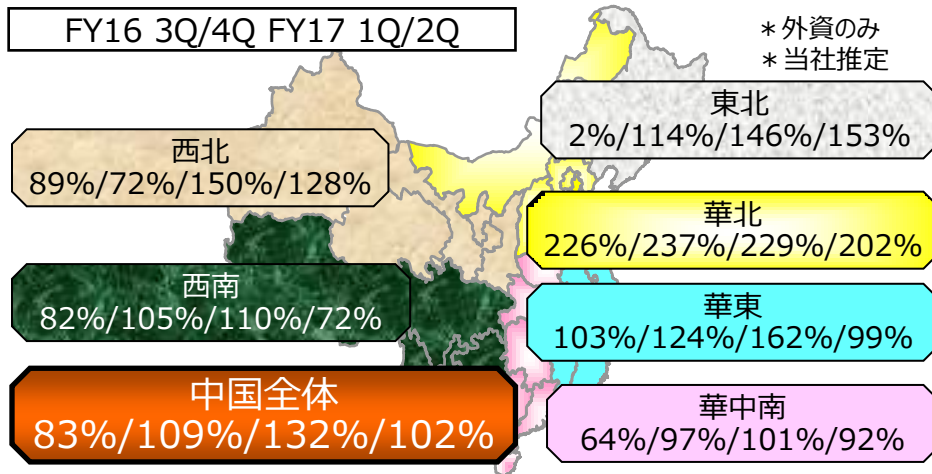
◇公共工事を中心とした景気下支えにより、油圧需要は大幅増加が継続（対前年2.2倍）

GDP・固定資産投資



地域別油圧ショベル四半期別前年比

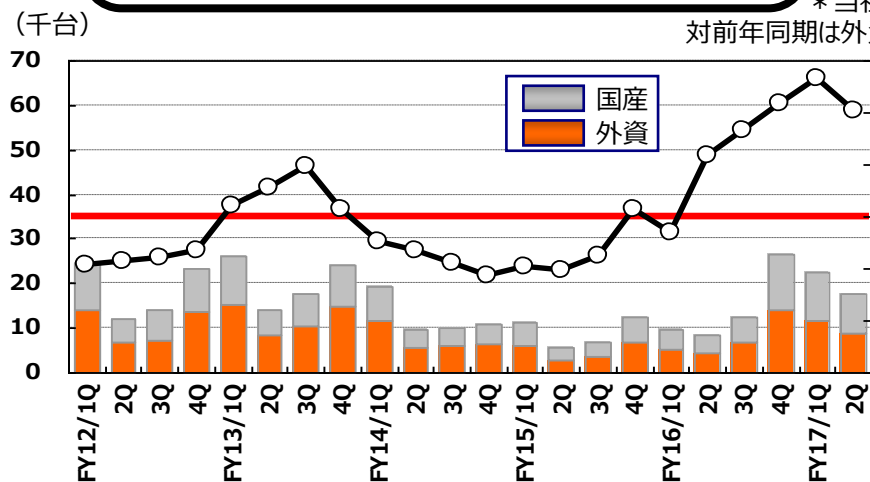
(%)



油圧ショベル需要

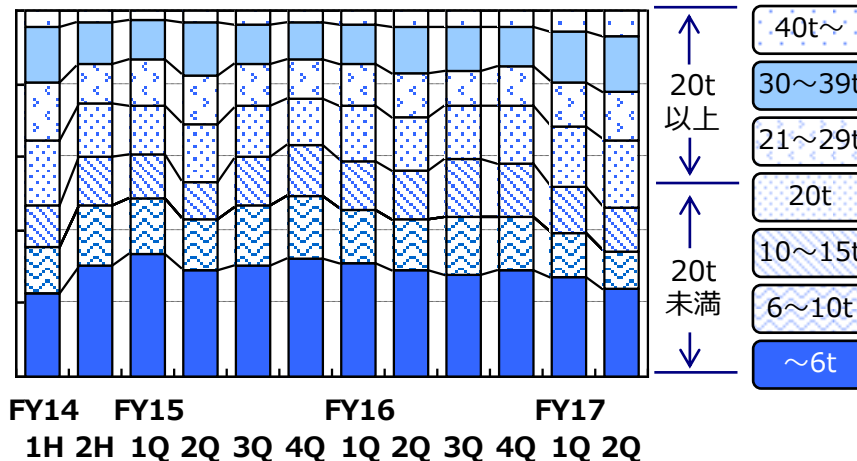
* 当社推定

対前年同期は外資のみ



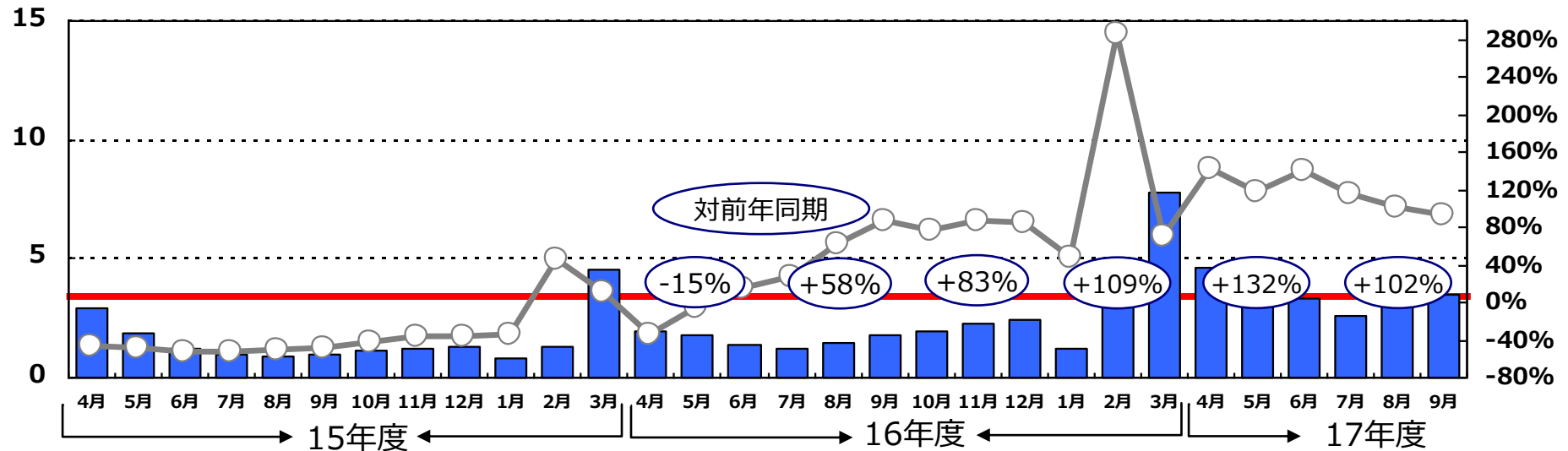
ミニ・油圧ショベル クラス別需要構成比

* 当社推定
外資のみ

100%
150%
80%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%
-50%
-100%
-150%


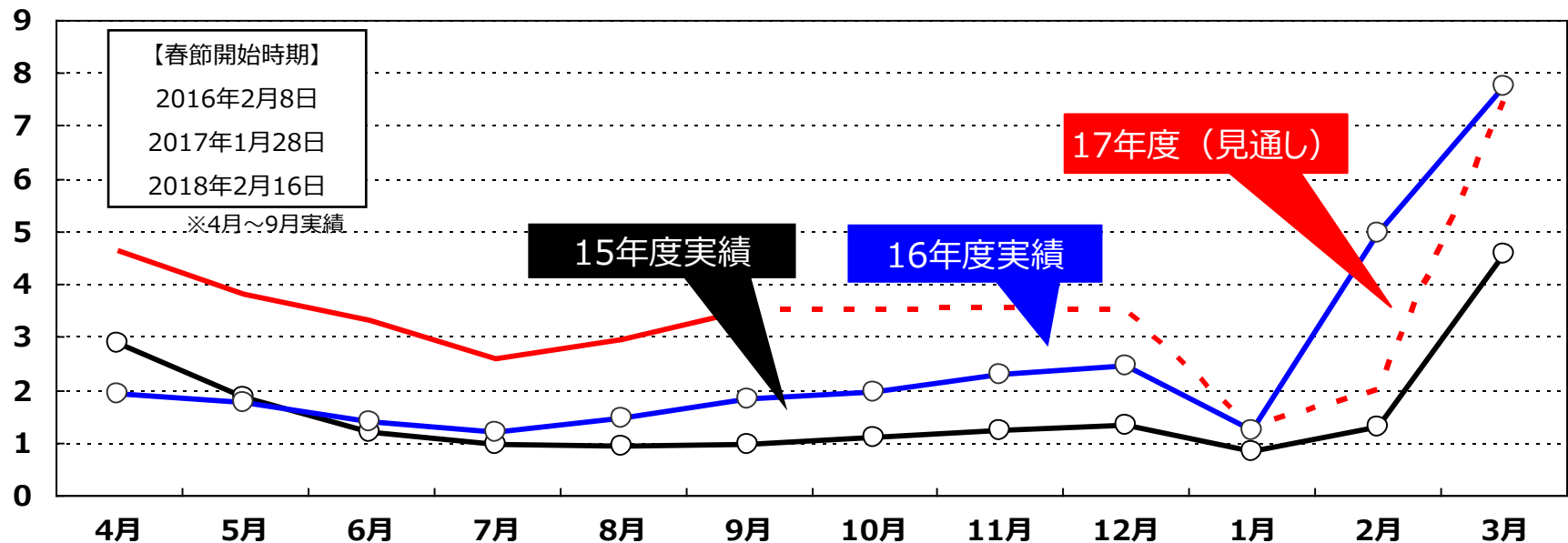
(千台) 油圧ショベル需要 (月別推移) (外資のみ)

(対前年同月)
* 当社推定



(千台) 油圧ショベル需要(対前年同月比較) (外資のみ)

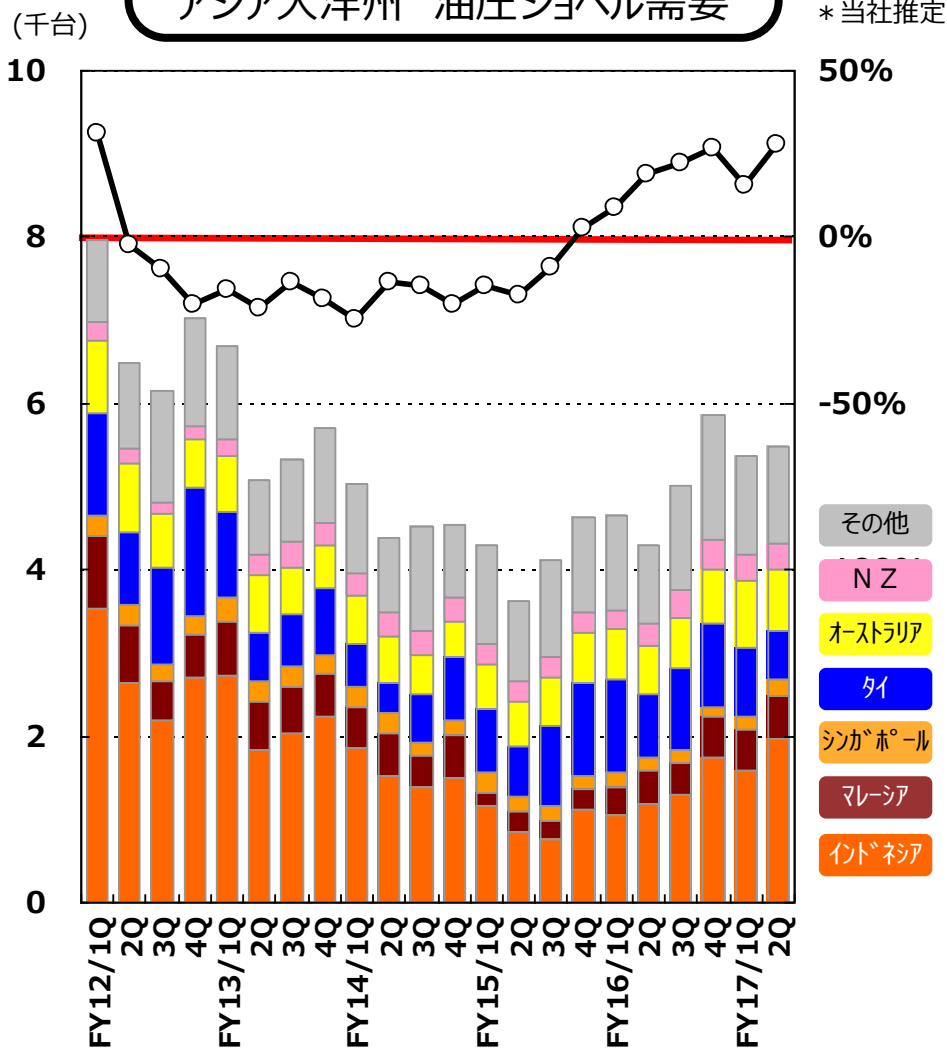
* 当社推定



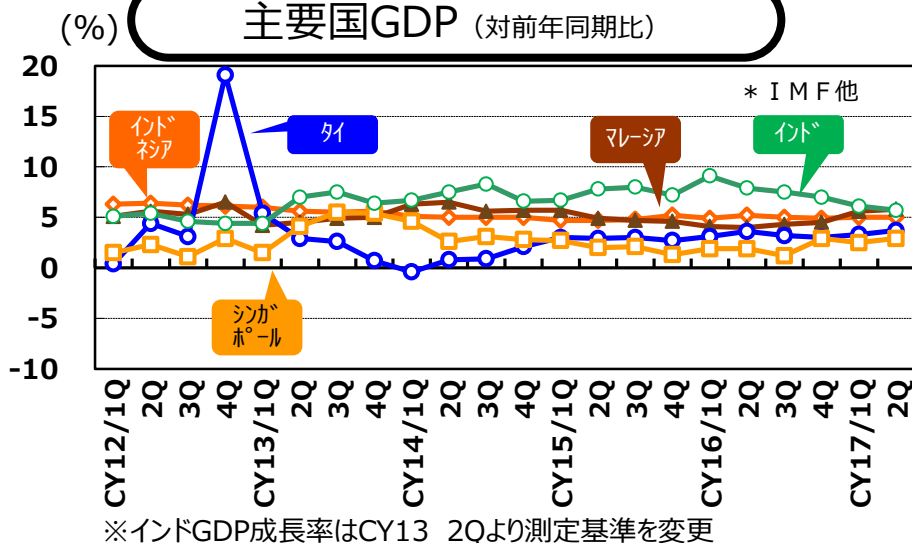
◇アジア大洋州の油圧需要はインドネシア・マレーシア・オーストラリアで大幅増、タイで減少も全体で増加（対前年21%増）

◇インドの油圧需要は鉄道、道路を始めとしたインフラ投資向けを中心に増加（対前年16%増）

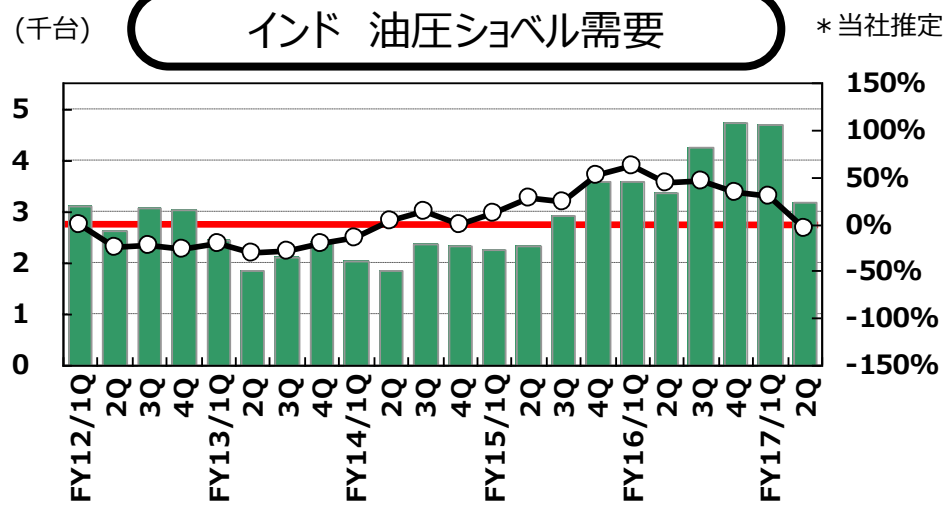
アジア大洋州 油圧ショベル需要



主要国GDP（対前年同期比）



インド 油圧ショベル需要



日本・インド官民連携プロジェクト 「ものづくり技能移転推進プログラム」に参画



「日本式ものづくり学校（*JIM）」としての認可を得た上で
タタ日立社の所有するダルウッド工場敷地内の教育施設にて、
インドの製造現場の中核を担う人材育成の取り組みを進めていく予定

*JIM : Japan-India Institute for Manufacturing

■ タタ日立社概要

社名 : Tata Hitachi Construction Machinery
Company Private Limited

インド事業売上収益 : 約486億円

(日立建機連結 16年度実績)

従業員数 : 2,052名 (17年3月31日現在)

製造拠点 : 3工場

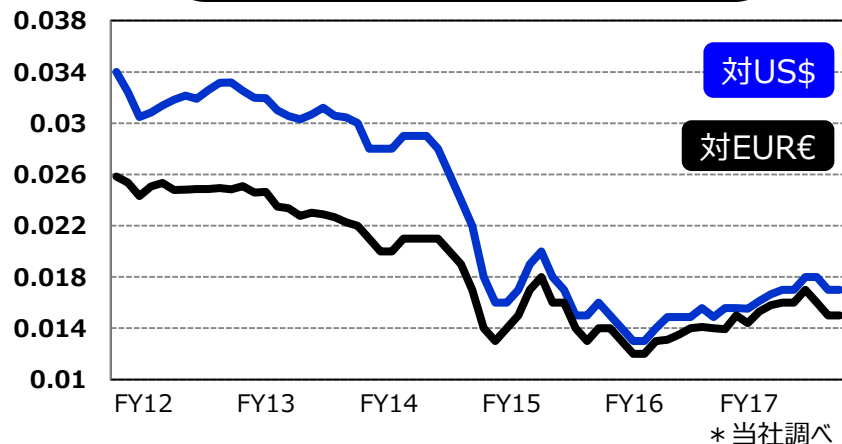


<JIMに取り組む予定のタタ日立社ダルウッド工場>

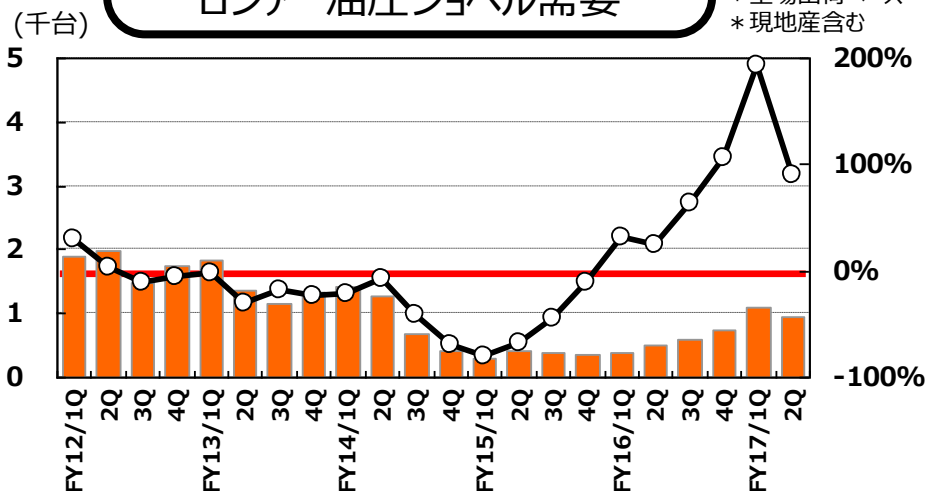
◇ロシアは原油価格持ち直しの影響を受け、需要が増加

◇中東は湾岸諸国を中心に需要の減少が継続

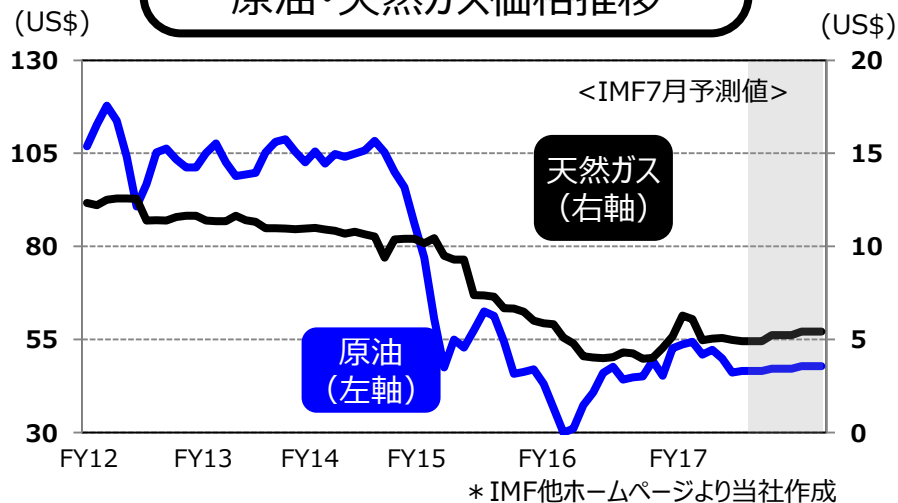
ループル為替推移



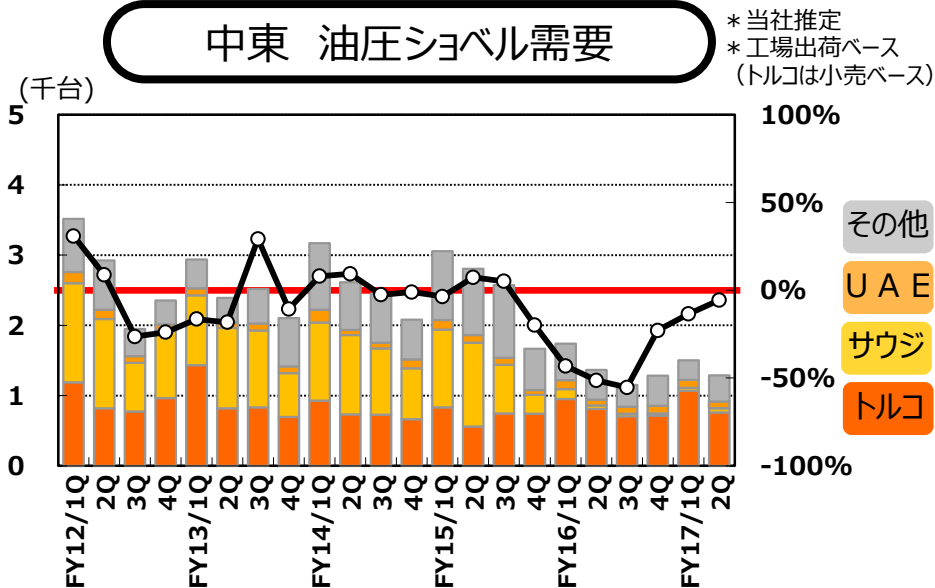
ロシア 油圧ショベル需要



原油・天然ガス価格推移

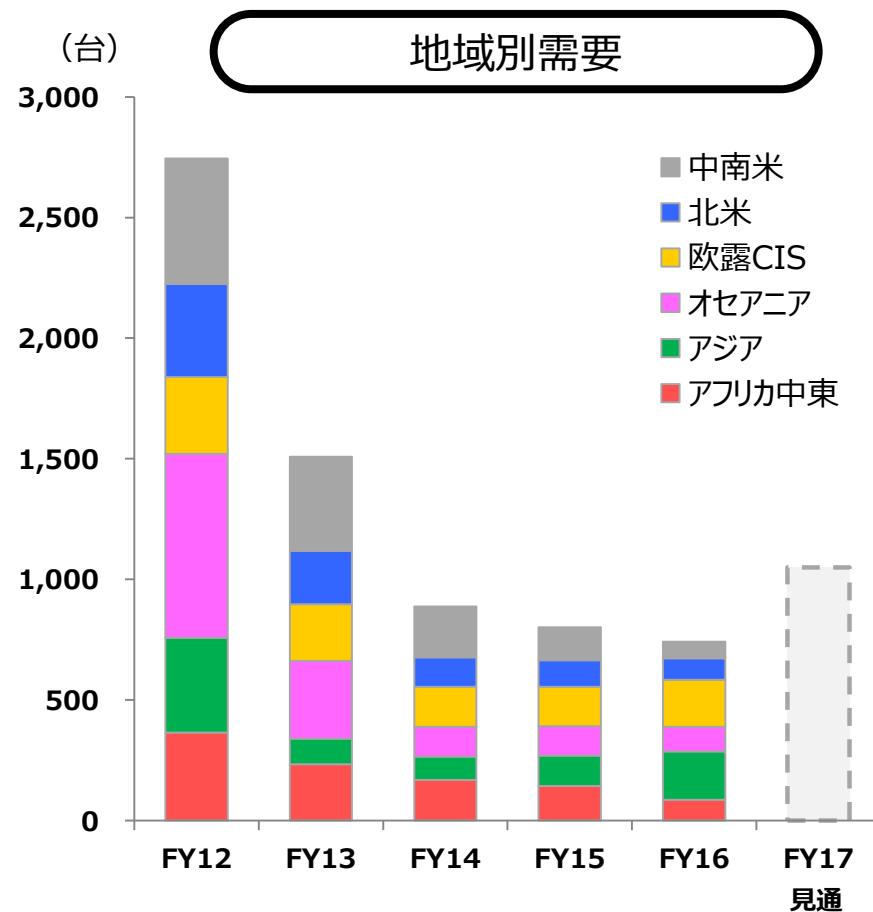
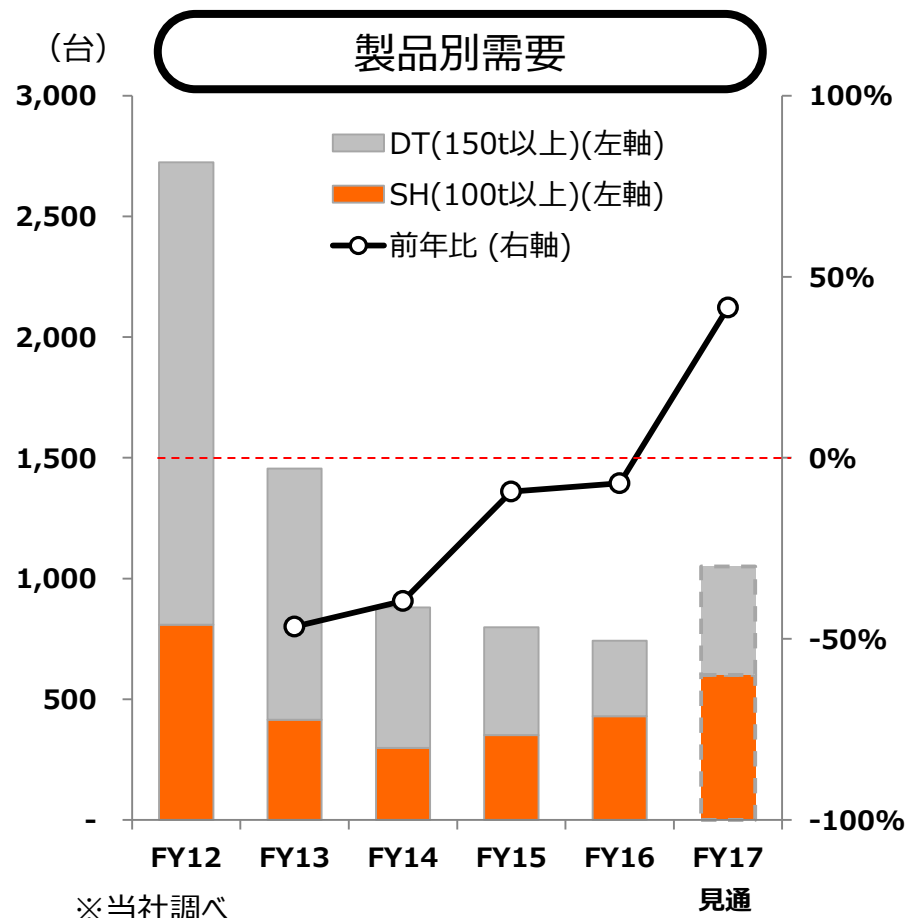


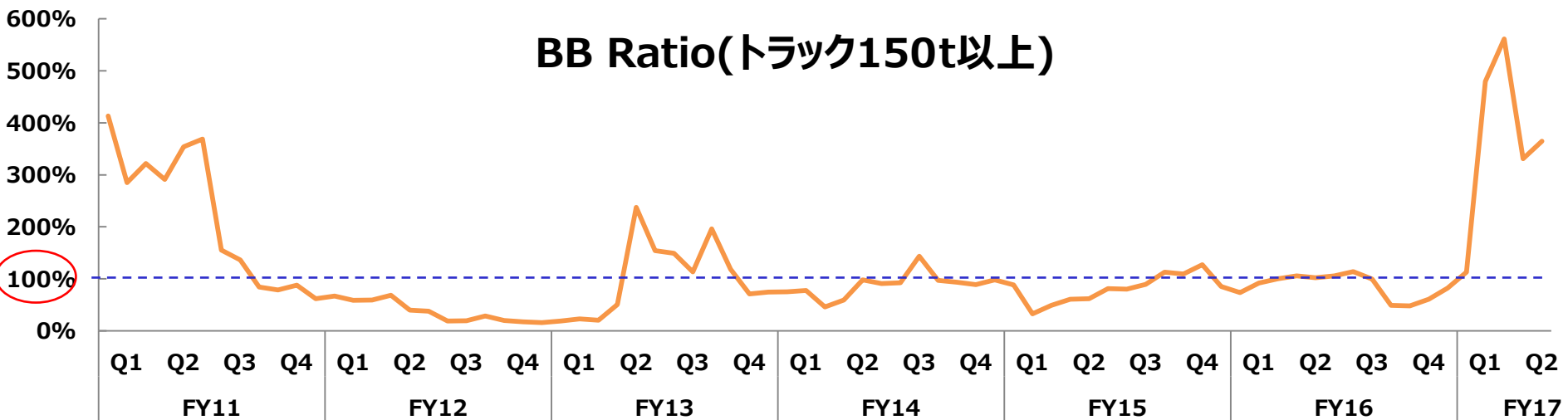
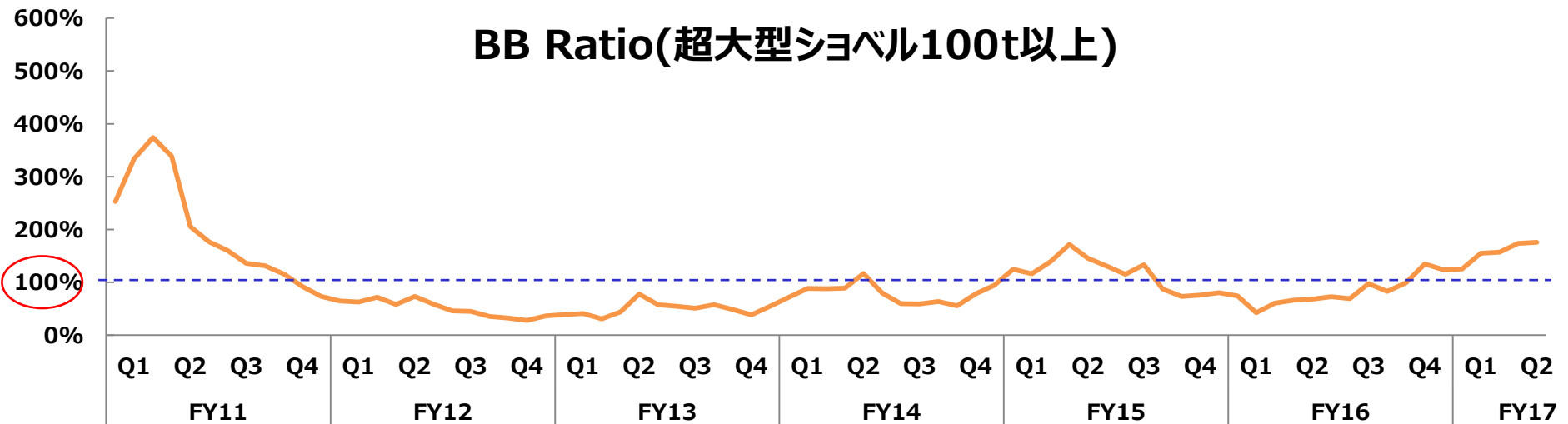
中東 油圧ショベル需要



- ◇4年連続で需要前年割れであったが漸く上向きに転じ、対前年40%程度の需要増見込む
製品別では100tショベル対前年50%増、200t以上ショベル20%増、トラック40%増
- ◇地域別ではロシア・アジア・北中南米で好調

超大型ショベル(100t以上) 、トラック(150t以上)





※Book-to-Bill(BB)Ratio = Booking(受注額)/ Billing(出荷額)

当社単独の受注・出荷額の6ヶ月平均

【見通しに関する注記事項】

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。実際の業績は、様々な要因の変化により、記載の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。

END

お問い合わせ

日立建機株式会社

ブランド・コミュニケーション本部 広報戦略室

TEL : 03-5826-8152

FAX : 03-5826-8209

